

夏と冬の富士山を 衛星画像で見よう

人工衛星は地球を周回しているのでさまざまな日付の衛星画像があります

目的と大まかな流れ

目的

衛星画像では直近の様子を確認することができます

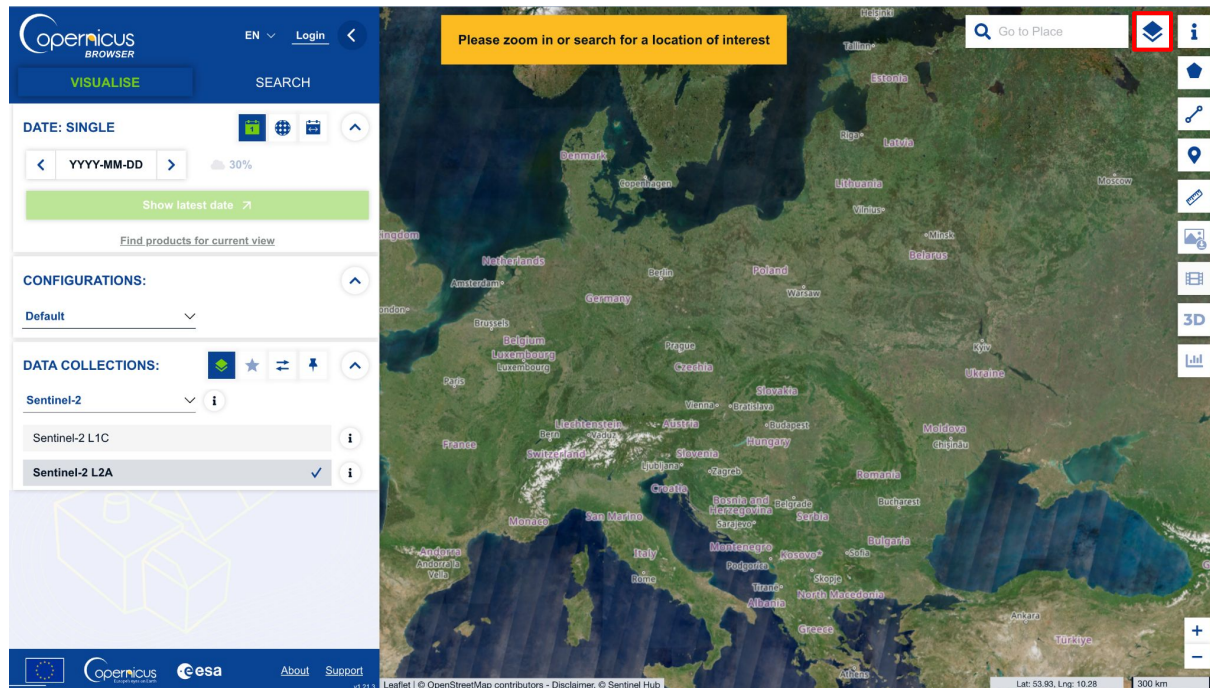
まずは最も直近の身近な地域の様子を表示してみましょう

流れ

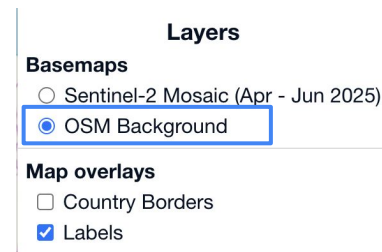
1. [Copernicus Browser](#)にアクセス
2. 見たい場所(富士山)へ地図の方のカーソルを合わせる
3. 「Show latest dataで表示」からカレンダーを選択して日付を選択

Copernicus Browserにアクセスします

<https://browser.dataspace.copernicus.eu/>にアクセスしてください

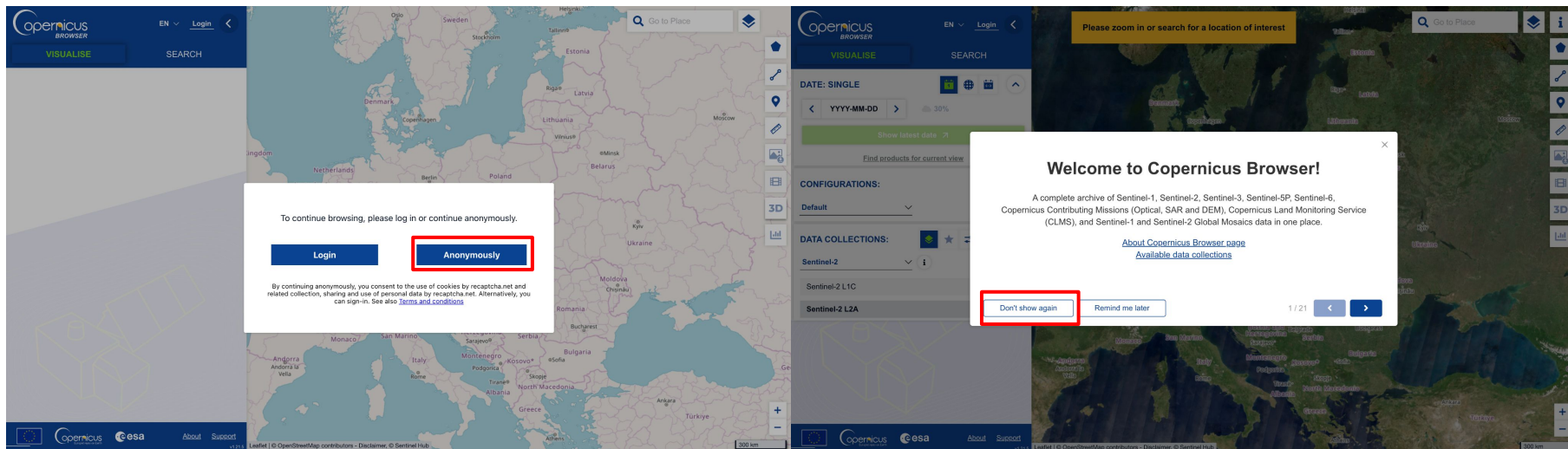


左の写真の画面になる
はずです
赤枠で囲ったところに
カーソルを合わせてOSM
Background
を選択してください



次は見たい場所に地図を
移動させます

初回利用画面の操作方法



上の赤枠で囲ったところを選択してください

見たい場所へ地図を移動させます

方法は2つあります

1. 「皇居」など上の検索欄で検索
2. 地図上でドラッグして見たい場所まで移動

皆さんは自分の住んでいる地域のあたりに地図を移動させましょう

この資料では例として「富士山」に合わせますが、日本語検索が弱いので

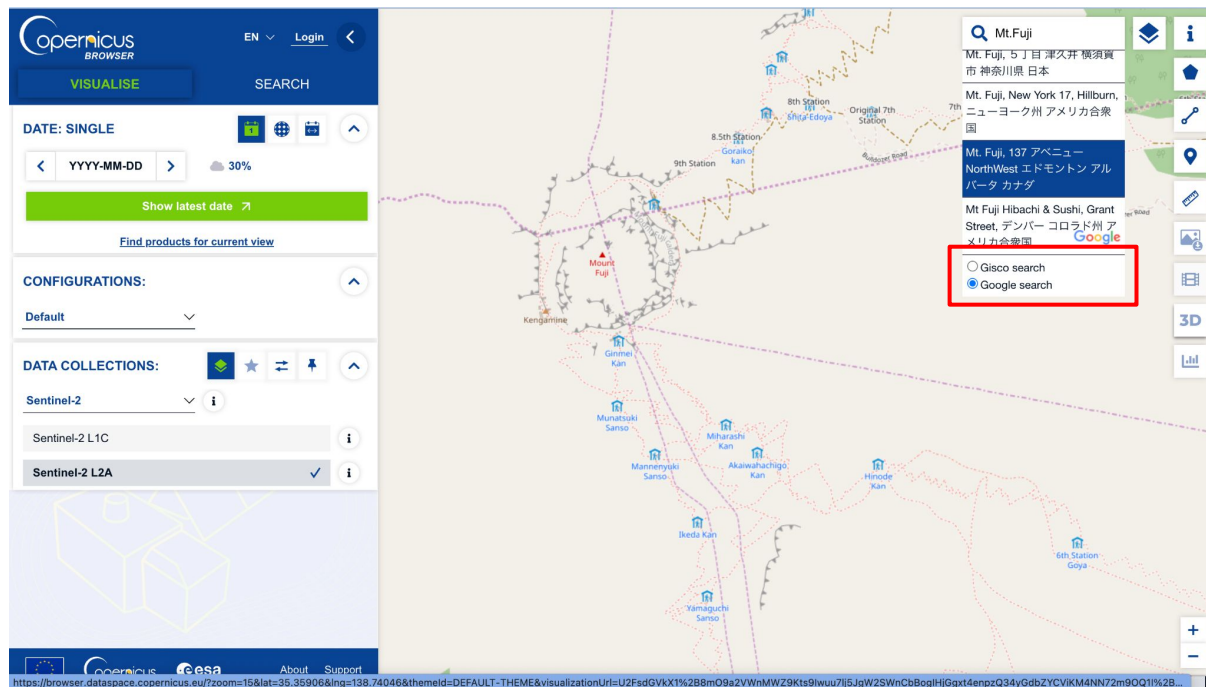
「Mt.Fuji」と入力します「富士山」でもうまくいくことはあります

***この時、左下の縮尺が 100m以下にすると見つらくなりますので注意してください**

2025年10月時点の情報に基づいています

見たい場所へ地図を移動させます

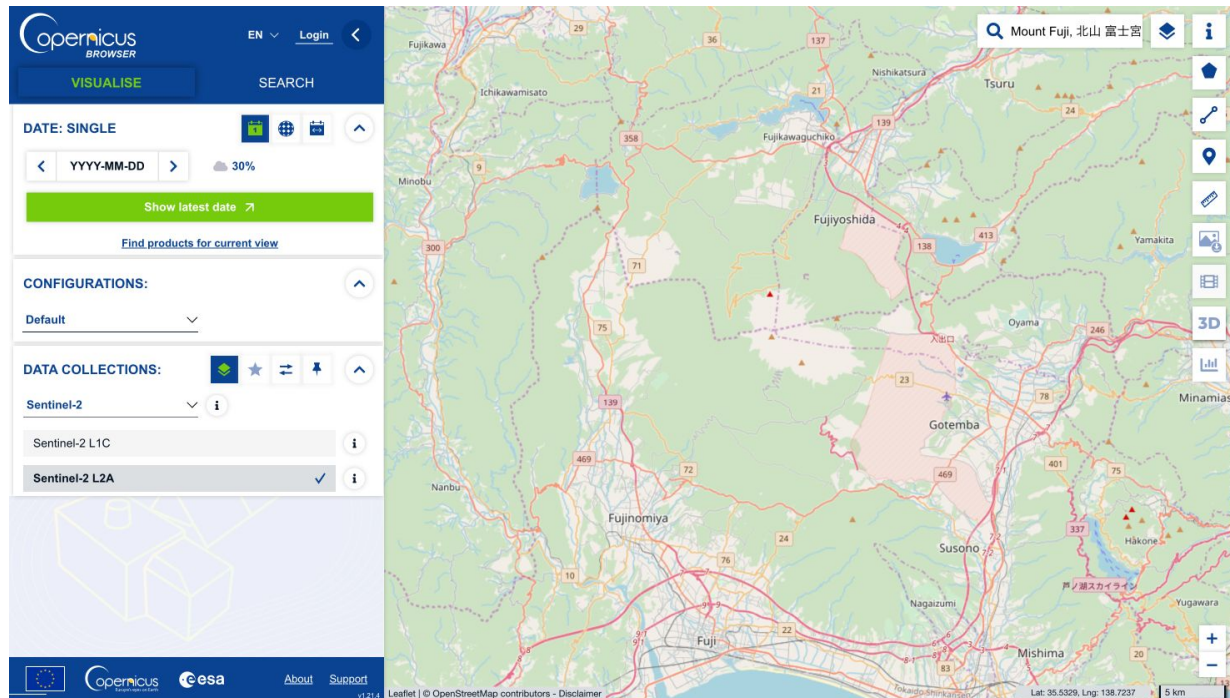
検索欄を使用する際の注意



Google search
を選択してください



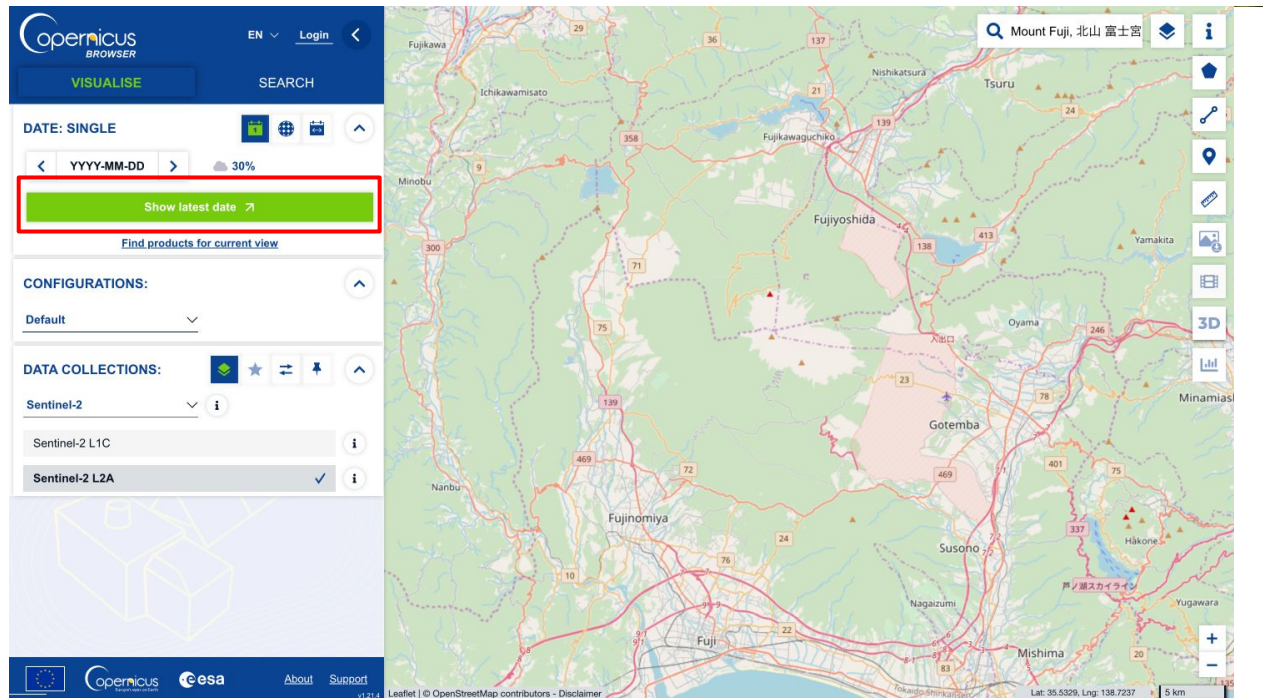
見たい場所へ地図を移動させます



地図が移動できました
ら、左の欄を設定します

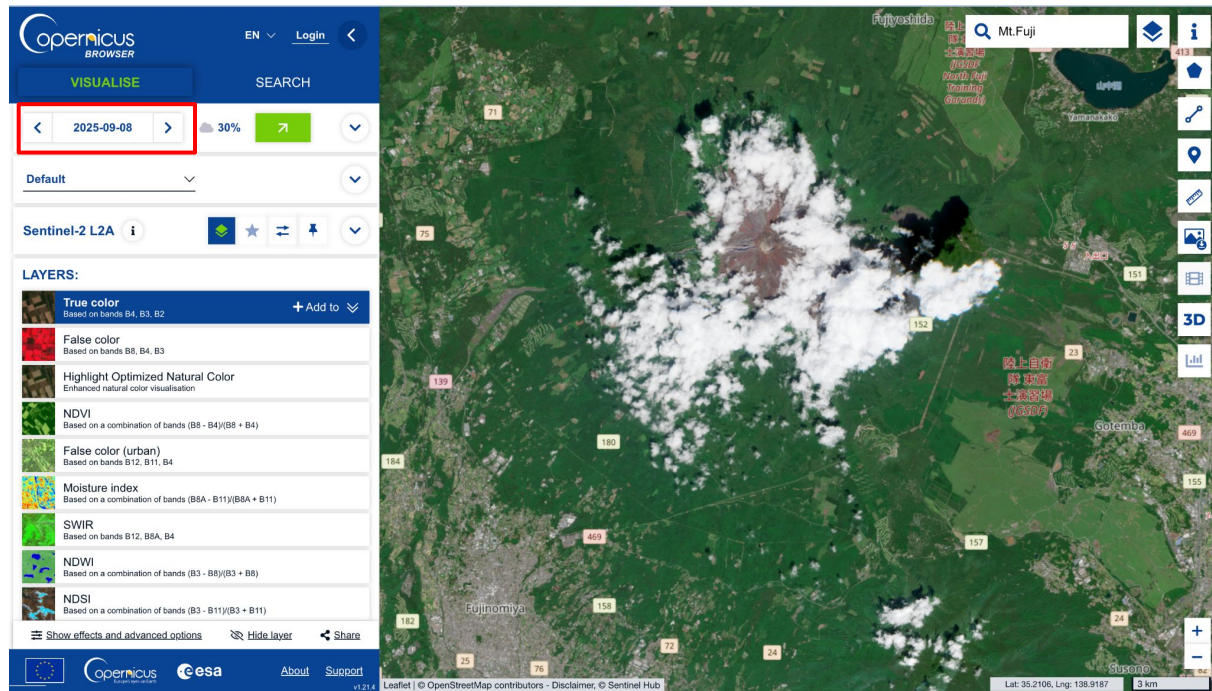
2025年10月時点の情報に基づいています

Copernicus Browser



緑色の
「Show latest data」
を選択してください

衛星画像が表示されました



赤枠で囲った日付の衛星画像が表示されました
次に他の日付を見る方法を紹介します
まずは夏の富士山と冬の富士山を見比べてみましょう
(かつ雲が少ない日を表示させます)
赤枠で囲ったところを選択してカレンダーを表示させましょう

他の日時の表示方法

<

2025-09-08

>

☁ 30%

↗

▼

Max. cloud coverage:

☁ 30%

月を変更

September

▼

2025

▼

年を変更

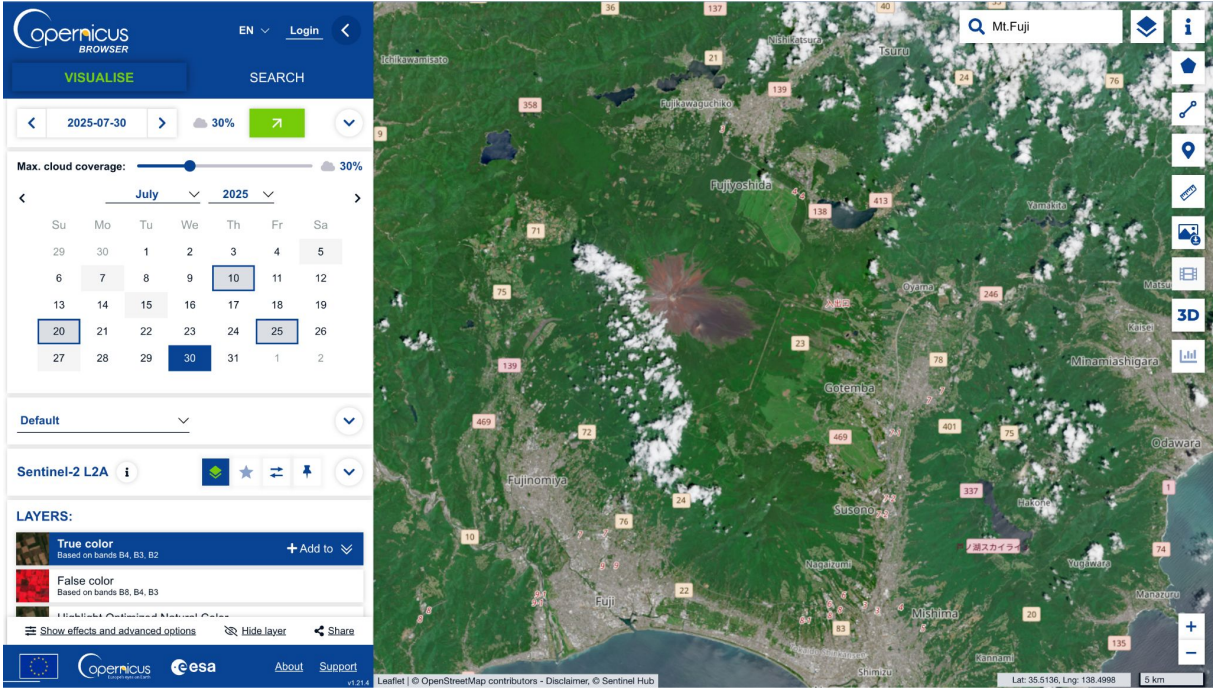
>

Su	Mo	Tu	We	Th	Fr	Sa
31	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	1	2	3	4

赤枠で囲った日付のところを選択するとカレンダーが出てきます

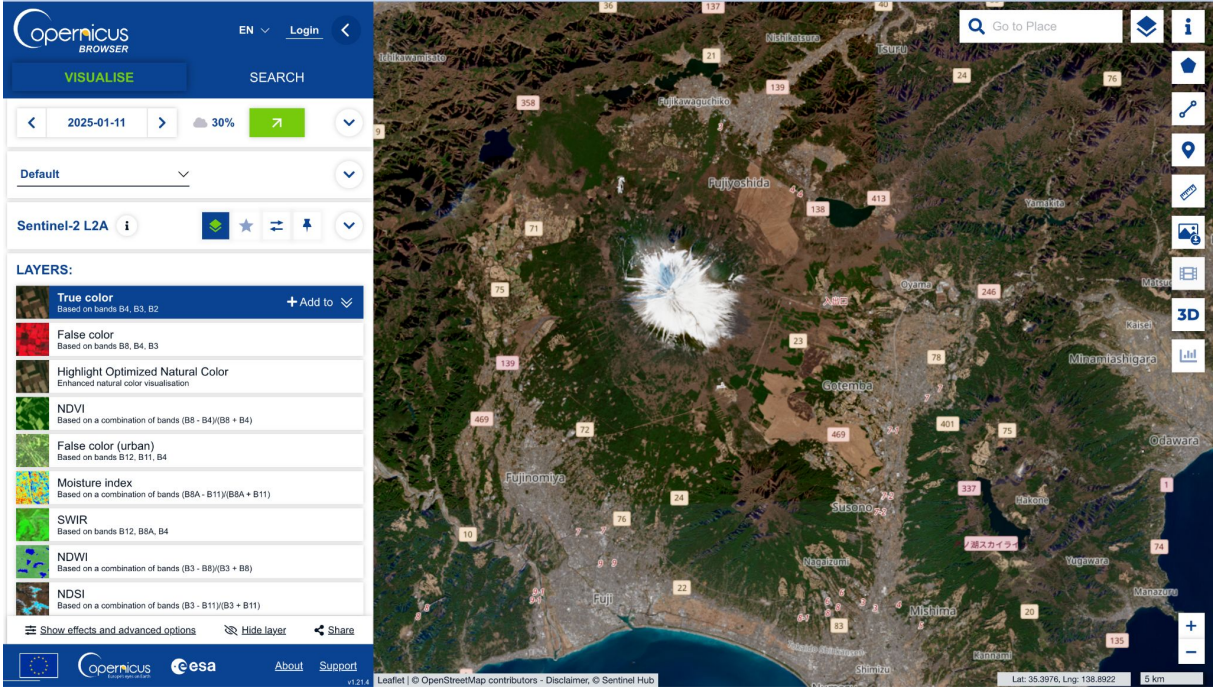
2025年7月30日を選択してください

夏の富士山を表示できました



次に2025年1月11日
を選択してください

冬の富士山を表示できました



ひとこと

積雪しているポイントがよくわかります

カレンダーで選ぶのは簡単ですね

2025年10月時点の情報に基づいています

出典:

Contains modified Copernicus Sentinel data 2025, European Union.

Screenshots from Copernicus Browser (© European Union).

注記:

本資料は教育目的で作成されたものです。

Copernicusのデータ利用条件は将来変更される可能性があります。

作成:

宇宙開発フォーラム実行委員会(SDF) dot.プロジェクト